

スカパーJSATグループ 2018年度 第2四半期決算説明会

2018年11月1日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード：9412

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- システムに関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第2四半期連結決算概要

損益概要

- 営業収益は防衛省向け衛星引渡し等により201億円(27.3%)増加
- 営業利益はメディア事業・宇宙事業ともに増益となり、7.3億円(8.3%)増加
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、3.5億円(5.5%)増加

(単位:百万円)

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	増減率	通期予想 進捗率	2018年度 通期予想
営業収益	73,720	93,838	27.3%	55.7%	168,500
営業利益	8,881	9,615	8.3%	58.3%	16,500
経常利益	9,453	10,345	9.4%	60.9%	17,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,407	6,760	5.5%	58.8%	11,500
EBITDA *1	22,531	22,644	0.5%	53.9%	42,000

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

セグメント別連結業績の推移(2017年度1Q ~ 2018年度 2Q)

■ 対前年同四半期比較

- メディア事業は視聴料収入減少により減収ながら、コストコントロールにより増益
- 宇宙事業は、放送トランスポンダ収入の減少等により、減収減益

(単位:百万円)

	2017年度					2018年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
営業収益	37,195	36,525	35,762	36,018	145,501	58,772	35,066
メディア事業	27,424	26,828	25,925	25,620	105,798	25,857	25,368
宇宙事業	12,524	12,428	12,459	12,987	50,400	35,541	12,266
消去又は全社	△2,754	△2,731	△2,622	△2,589	△10,697	△2,626	△2,569
営業利益	4,334	4,547	3,233	3,536	15,652	4,646	4,969
メディア事業	1,005	1,448	239	541	3,233	797	2,055
宇宙事業	3,531	3,430	3,034	3,141	13,137	4,034	3,082
消去又は全社	△202	△331	△40	△145	△719	△185	△168

2018年7月よりセグメント名称を「宇宙・衛星事業」から、「宇宙事業」に変更いたしました。セグメント別の業績に与える影響はございません。

メディア事業の主要指標^(*)

- 9月までの「スカパー！新基本パック複数台無料キャンペーン」により、新規加入件数増加

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	2018年度目標値
新規+再加入件数(万件)	23.8	27.3	53.2
純増数(万件)	△3.5	△3.0	△5.2
累計加入件数(万件)	328.5	323.3	321.0
加入者月額支払単価(¥)	3,251	3,201	-
ARPU(¥)	2,059	2,008	-
SAC単価(¥)	37,753	27,436	-

※スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

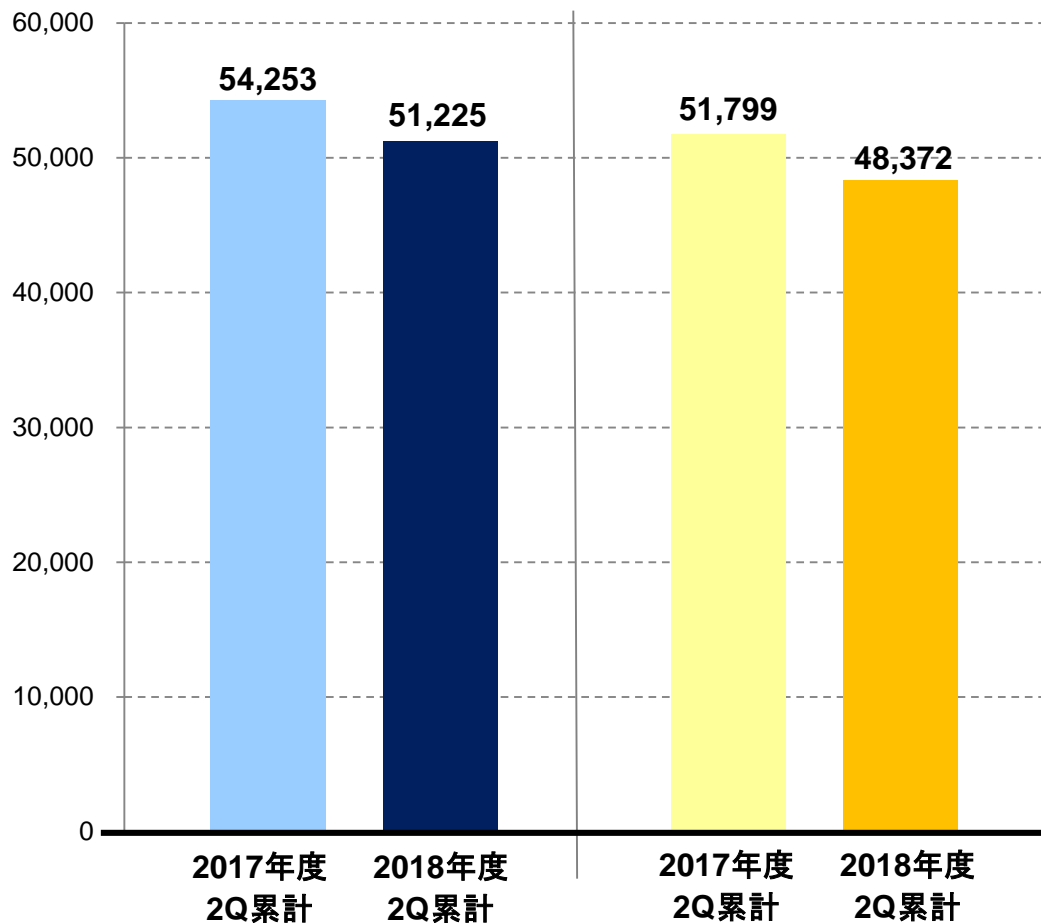
メディア事業の業績概況：前年同期比

メディア事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲30億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む

- 視聴料収入の減少：△23億円
- 加入料・基本料収入等の減少：△7億円

営業費用(▲34億円)*

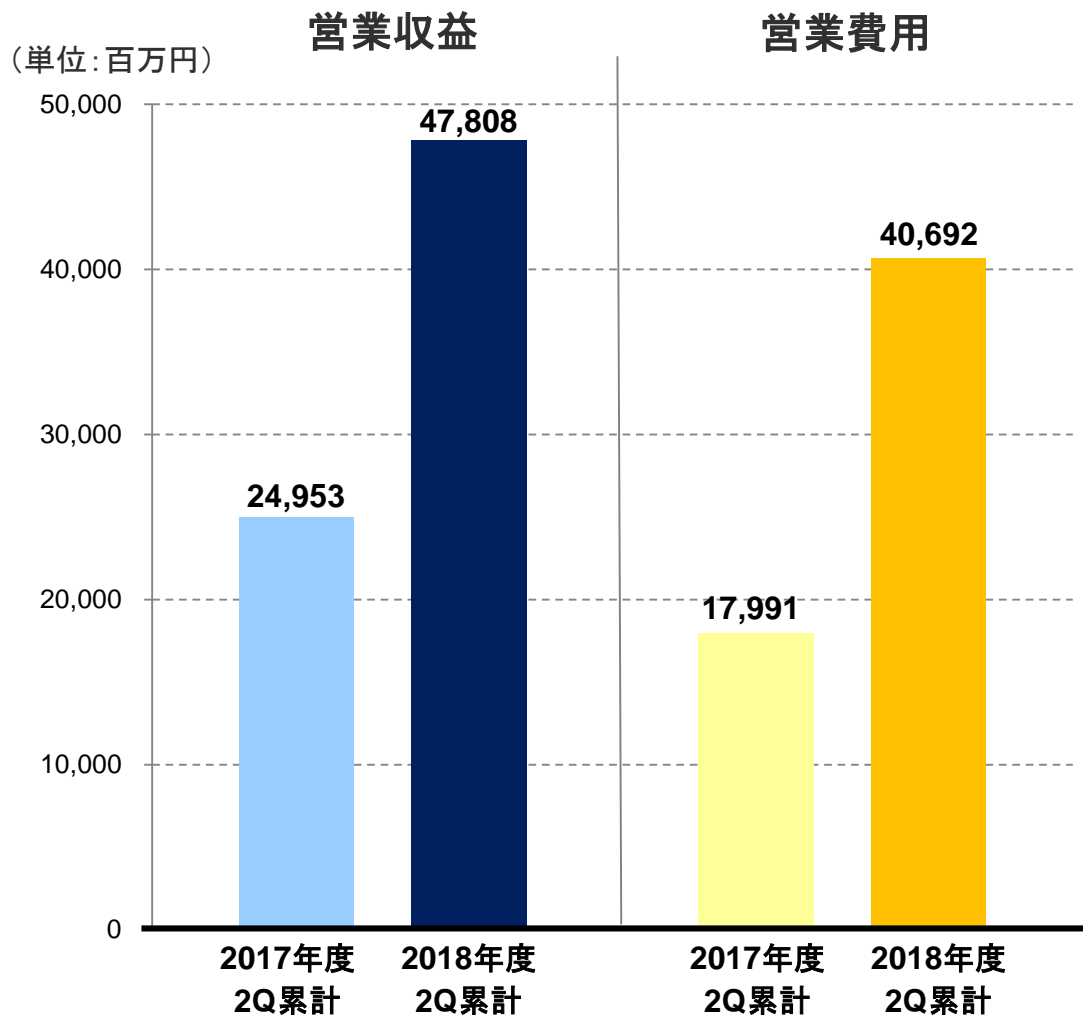
<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む

- 番組供給料の減少：△18億円
- コンテンツ費用の減少：△11億円
- その他費用の減少：△5億円

宇宙事業の業績概況：前年同期比

宇宙事業



営業収益(+229億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む

- 通信衛星及び関連設備の売却：+230億円
- 放送トランスポンダ収入の減少：△2億円

営業費用(+227億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む

- 衛星事業原価等：+233億円
- 減価償却費の減少：△6億円

今後の取り組み
～メディア事業～

お客様にとってのスカパー！価値向上①

■ 10/1(月)より、スカパー！サービス上で新たに3ch放送開始



© エンタメ〜テレ

エンタメ〜テレ☆シネドラマバラエティ
11月放送「天空麻雀20」



Licensed by KBSJAPAN© changcompany, All rights reserved

KBS World 11月放送 日本初放送バラエティ
「JAEJOONG Photo People in Tokyo」



(C)STUDIO DRAGON CORPORATION

Mnet 11月放送 新作ドラマ
「知ってるワイフ(原題)」

■ チャンネル数は69chへ ※プロモチャンネルを除く。 ※HDチャンネルは、35ch→56chまで増加



お客様にとってのスカパー！価値向上②

■ 新基幹商品「スカパー！基本プラン」販売開始初月で16万件の契約獲得



家を楽しむのは、テレビだ。

- 10/10(水) 新基幹商品「スカパー！基本プラン」販売開始
- 11ジャンル・50ch見放題
- 従来の「スカパー！新基本パック」に東映チャンネル、エンタメ～テレ☆シネドラバラエティ、KBS Worldが加わり200円増の3,600円(税抜)
- TV3台目まで追加料金なし



10/28(日)時点で、約16万件の契約獲得

魅力あるコンテンツの追求

■ 宇多田ヒカル Laughter in the Dark Tour 2018 2019年1月放送 BSスカパー！



宇多田ヒカルが12年ぶりに行う
コンサートツアーの様を
BSスカパー！、MUSIC ON! TV で独占放送
チケットプレゼントキャンペーンも実施

■ 欧州サッカー



海外リーグで活躍する
日本人選手の試合を徹底放送
スカパー！サッカーセット

■ Bリーグ



公式戦全試合放送中
オンデマンドは全試合ライブ配信
スカパー！Bリーグセット

放送高度化への取り組み(新4K8K衛星放送)

■ 2018年12月より、スカパー！サービスにて9つの4Kチャンネル開局



4K8K推進キャラクター 深田恭子



(1~4のセット料金)2,286円



900円



2,300円

※BS200~202との組合せ販売



ザ・シネマ4K

900円



4K商品契約者無料



※料金は全て税抜/月額

■ 充実の4Kコンテンツ(12月放送予定)

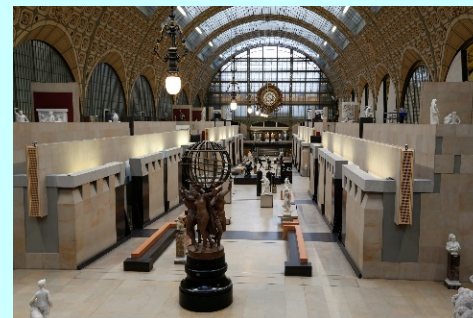


(C)橋本プロ/東宝映画/シナノ企画

日本映画+時代劇 4K
八甲田山 4Kデジタルリマスター版



スカチャン1 4K
久石譲&ワールド・ドリーム・オーケストラ2017



スカチャン1 4K
五感で旅する世界の美術館

今後の取り組み
～宇宙事業～

ロシア地域における取組強化 Rostelecom社との覚書締結

- 東方経済フォーラムにあわせて行われた文書交換式において、ロシア最大の通信事業者 Rostelecom社と『衛星通信を利用したロシア極東地域におけるデジタルデバイド解消のための協業に関する覚書』を締結。
- ロシア地域において、当社は既に携帯事業者等へ衛星回線を提供中。今後は Rostelecom社との協業のもと、更なるサービス提供の拡大に取り組む。



↑ 新規衛星で赤色エリアのカバーを予定。デジタルデバイドの解消に取り組む 図: Wikipediaより“Far Eastern Federal District”

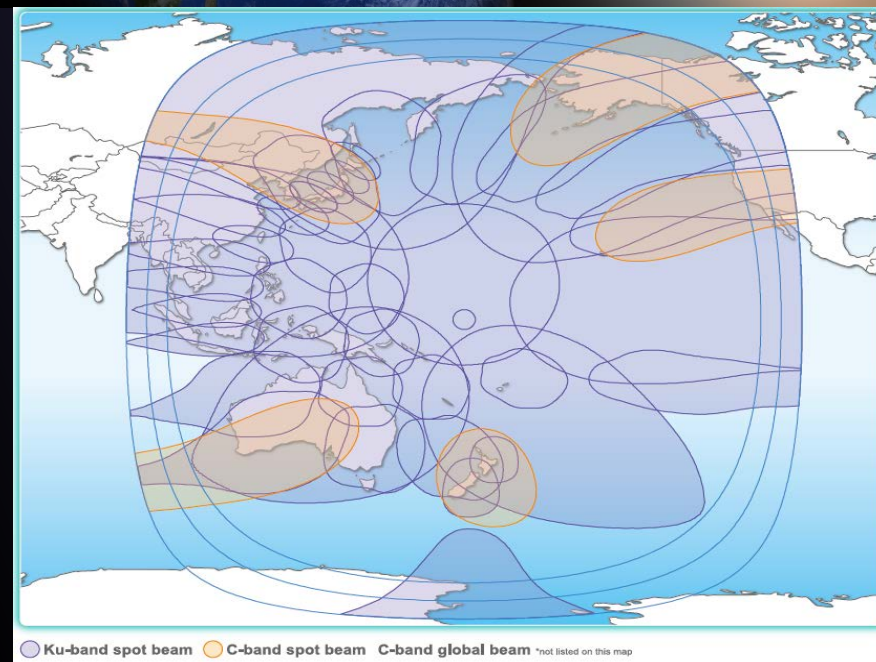
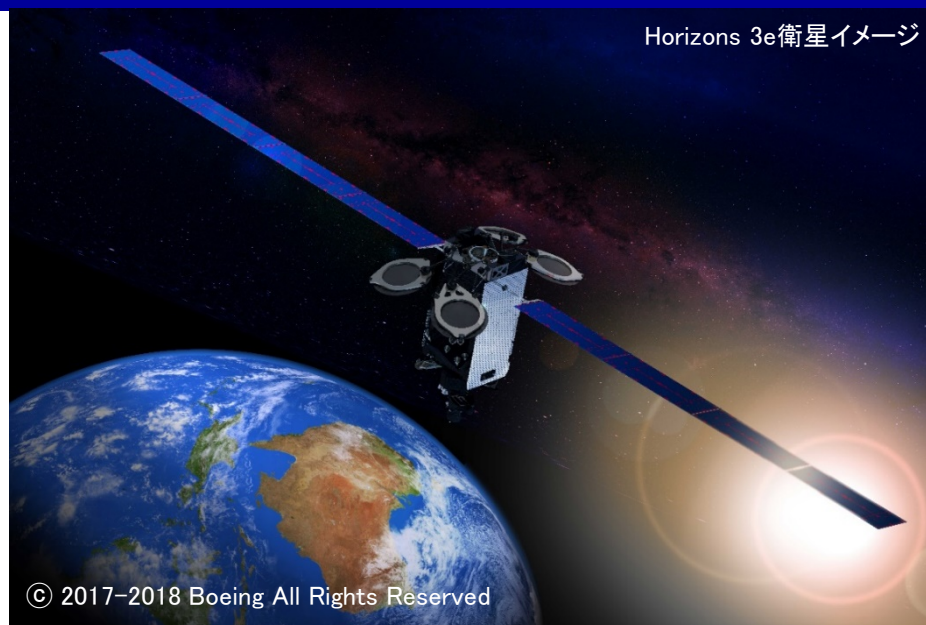
← 安倍総理大臣とロシア連邦プーチン大統領の前で握手をする
米倉英一代表取締役執行役員副社長(左)とロステレコム社
Mikhail Oseevskiy社長(右)

© 内閣官房内閣広報室

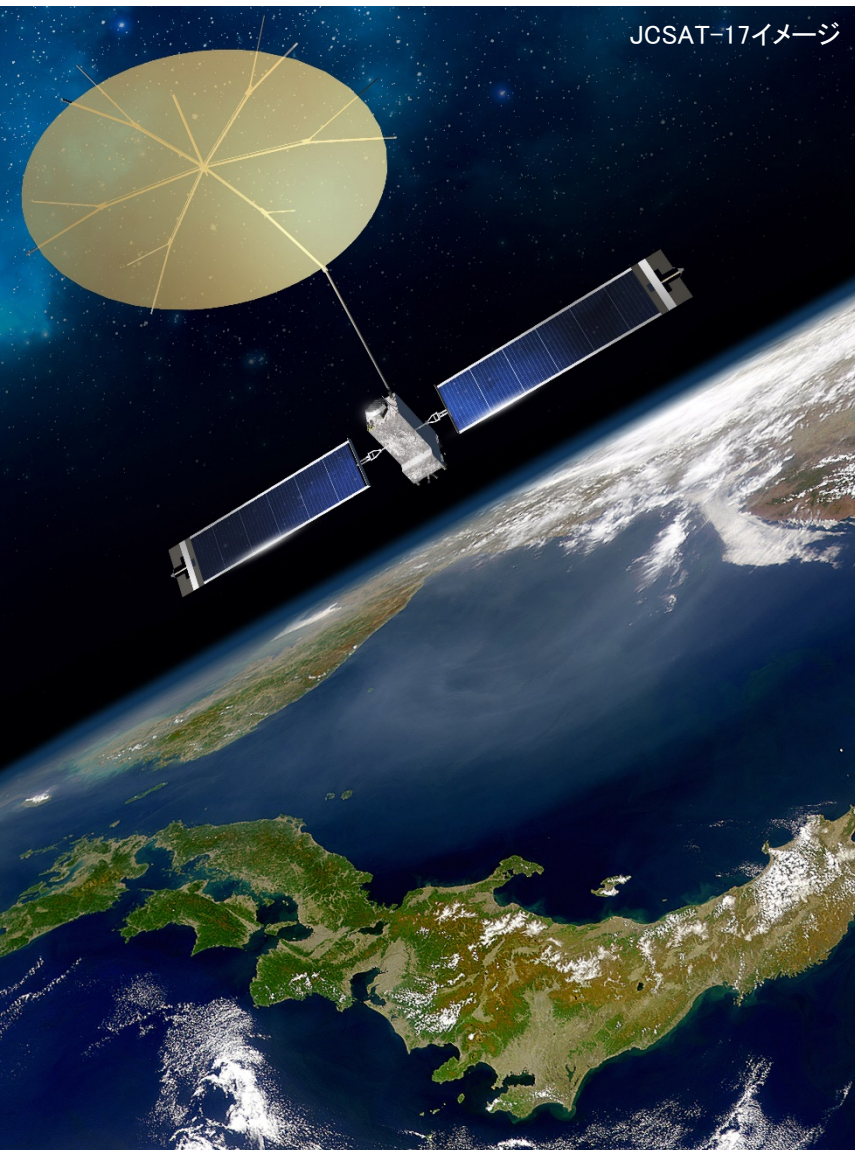
Horizons 3e 打上げ成功

- 日本時間9月26日(水)ギアナ・スペース・センターにて当社初のHTS[※]となるHorizons 3eの打上げに成功
- 今後のスケジュール
 - 試験実施後、2019年1月中旬頃のサービスインを予定
- 衛星情報
 - 利用開始 : 2019年1月予定
 - 軌道位置 : 東経169度
 - 衛星バス : Boeing社製702MP型
 - 中継器 : Ku帯 HTS・ステアラブルビーム
C帯 グローバル・アラスカビーム
- 想定利用
 - 携帯電話バックホール等、大容量通信での利用。
 - 船舶・航空等、移動体通信での利用。

※ High Throughput Satelliteの略。複数のスポットビームにより離れたビームで同じ周波数を繰り返し利用することで従来型衛星と比べ通信容量を大幅に増大させた衛星



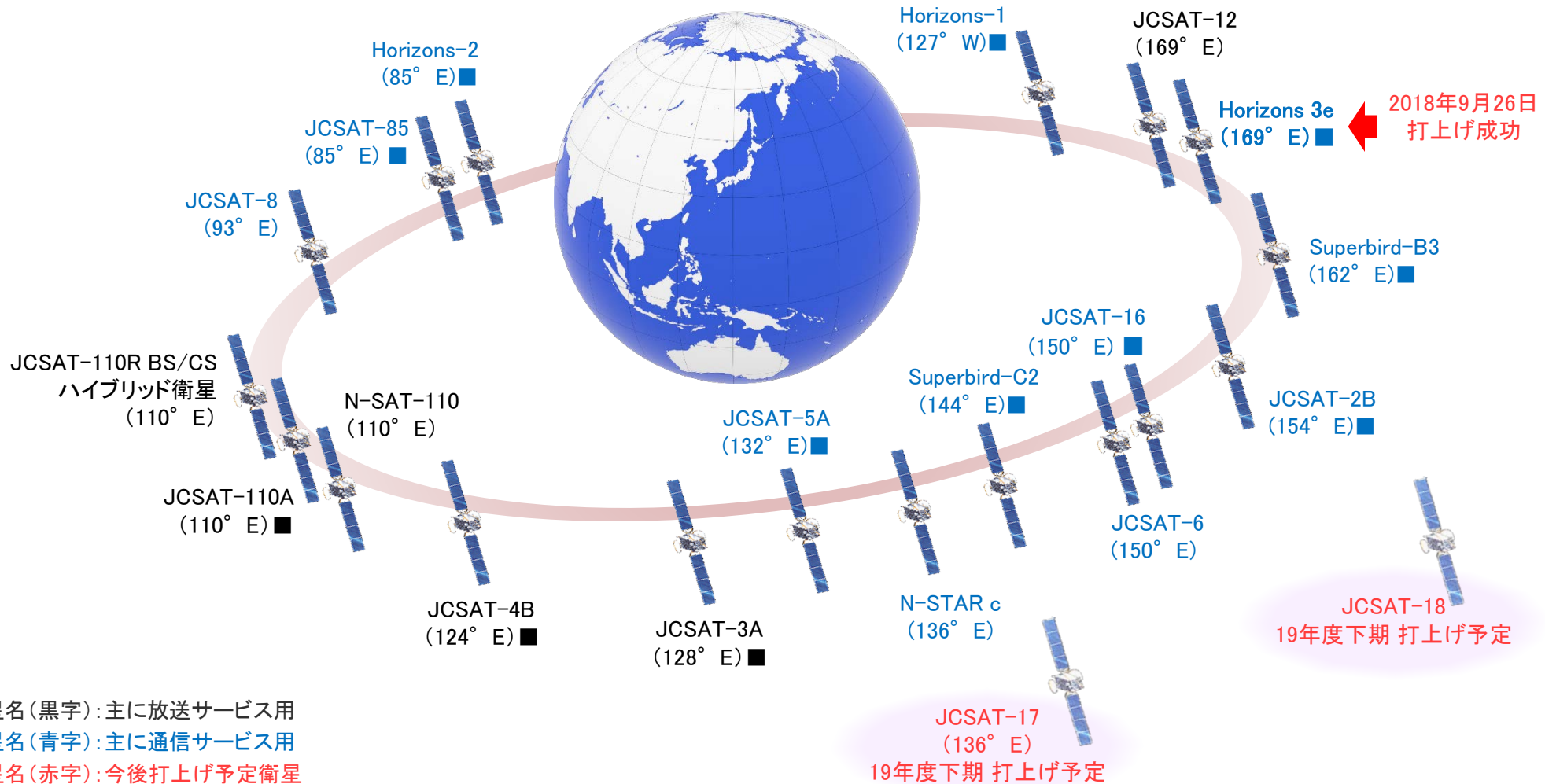
打上げ予定衛星一覽



	JCSAT-17	JCSAT-18 (HTS衛星)
衛星バス	A2100	702MP
製造メーカー	Lockheed Martin	Boeing
ロケット	Ariane5	Falcon9
打上時期	2019年度下期 予定	2019年度下期 予定
軌道位置	東経136度	TBD
衛星寿命	15年以上	15年以上
目的	国内通信提供	海外・モバイル (Kacific社共同衛星)

credit: Lockheed Martin

北米上空からインド洋上空まで計18機の衛星を保有



衛星名(黒字):主に放送サービス用

衛星名(青字):主に通信サービス用

衛星名(赤字):今後打上げ予定衛星

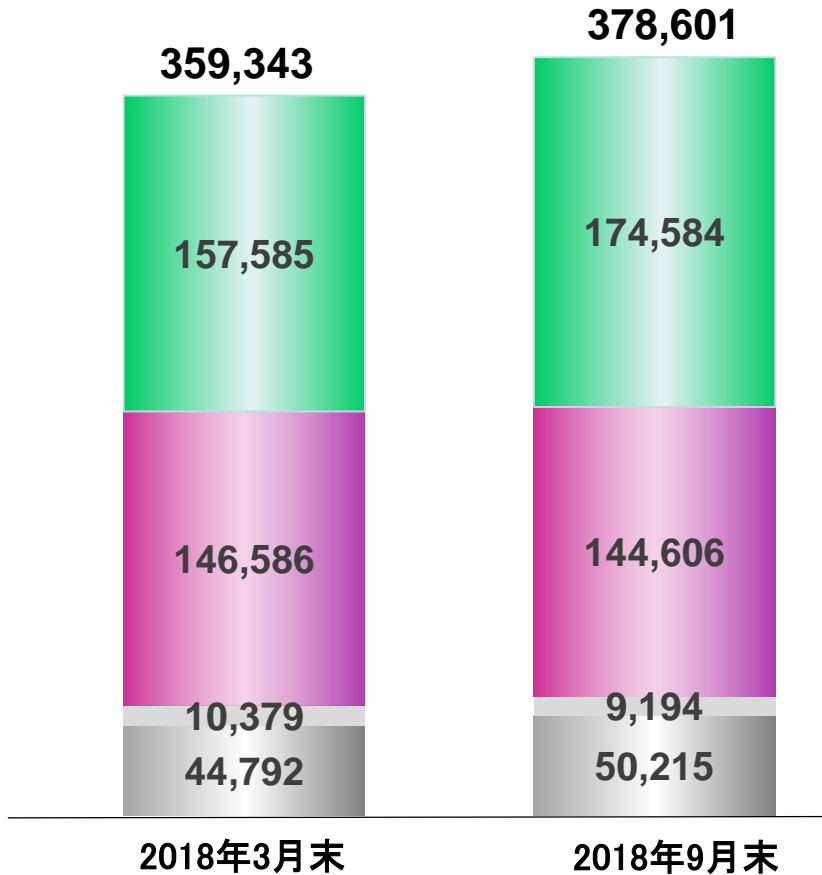
■:グローバルビーム搭載衛星(含む可動ビーム)

(参考資料)

連結貸借対照表

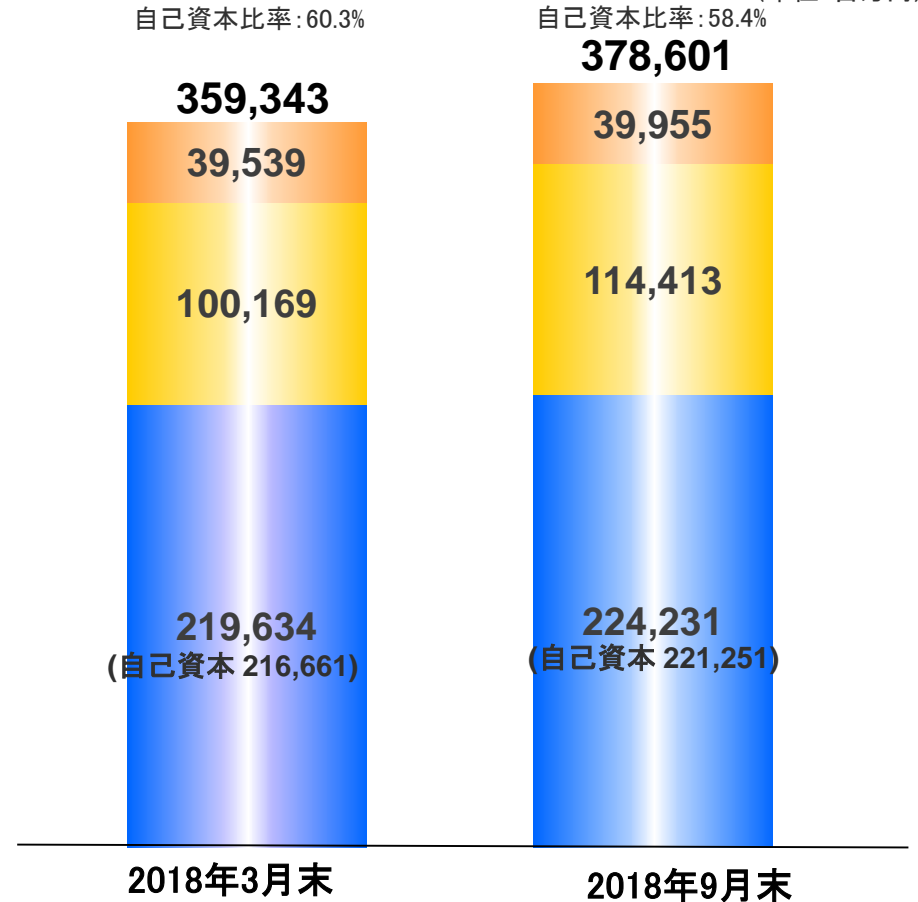
資産

(単位:百万円)



負債・純資産

(単位:百万円)



■ 流動資産
 ■ 有形固定資産
 ■ 無形固定資産
 ■ 投資その他資産
 ■ 流動負債
 ■ 固定負債
 ■ 純資産

*2018年度より『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を適用し、「繰延税金資産」を投資その他の資産に、「繰延税金負債」を固定負債に区分表示しております。自己資本は純資産から少数株主持分を控除して計算しております。

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

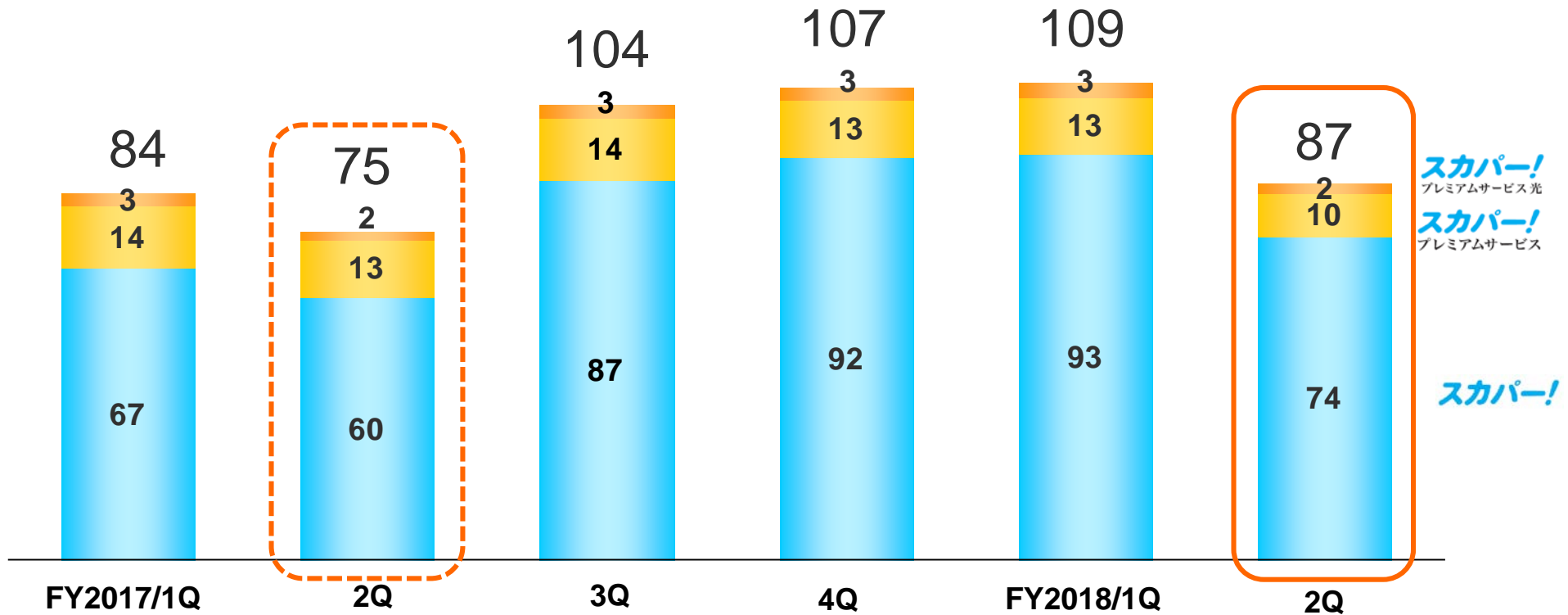
	2017年度2Q 累計	2018年度2Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,010	12,234
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,766	△14,878
フリー・キャッシュフロー (*1)	△3,756	△2,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,091	12,971
現金及び現金同等物の期末残高(a)	47,438	56,619
有利子負債期末残高 (*2) (b)	90,901	109,427
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	43,462	52,807

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

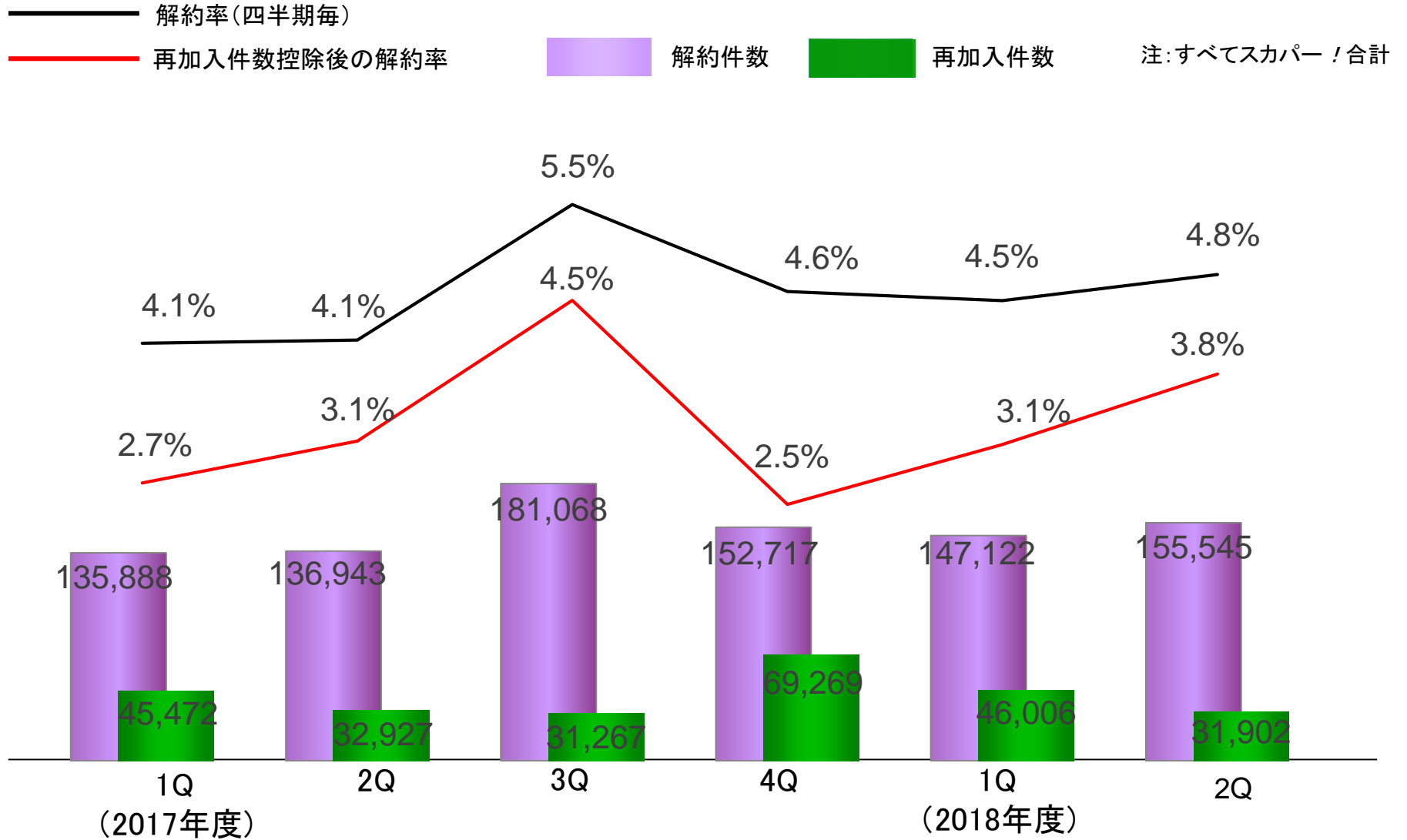
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位:千件)

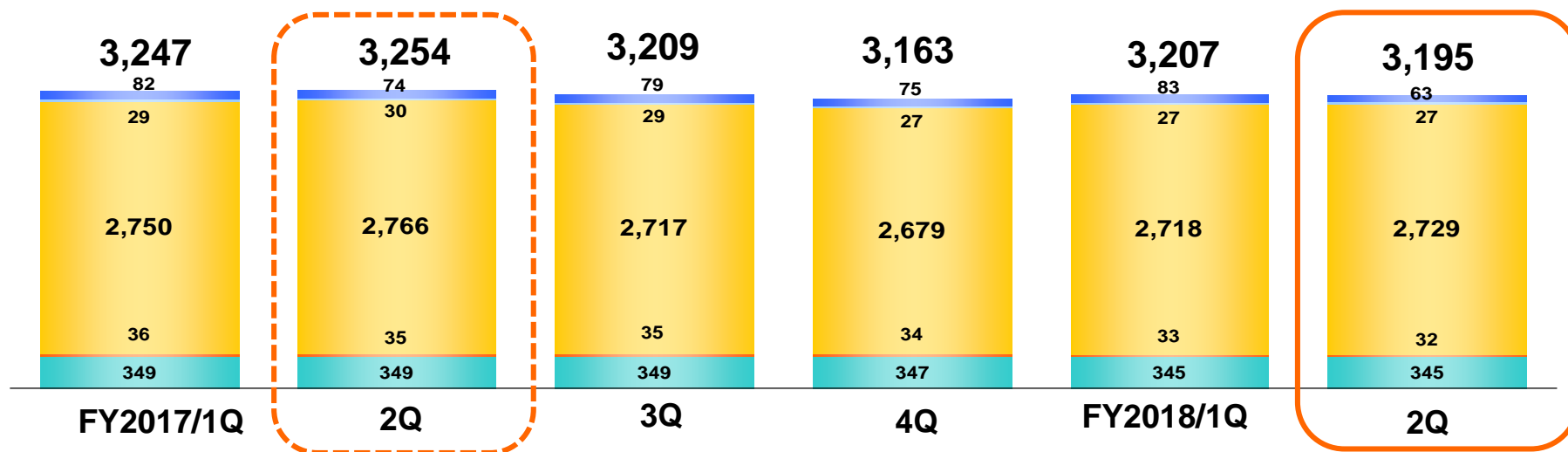


解約率の推移

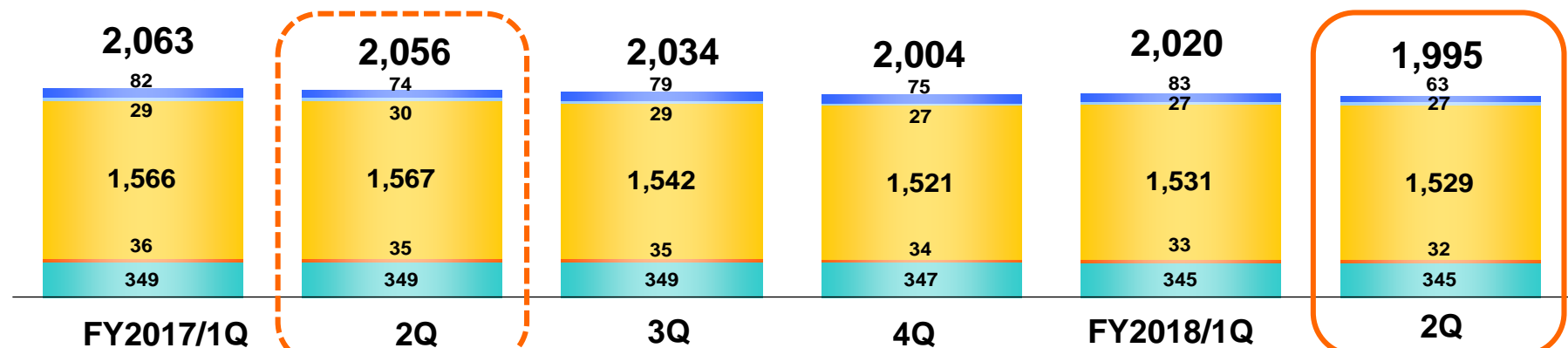


各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)



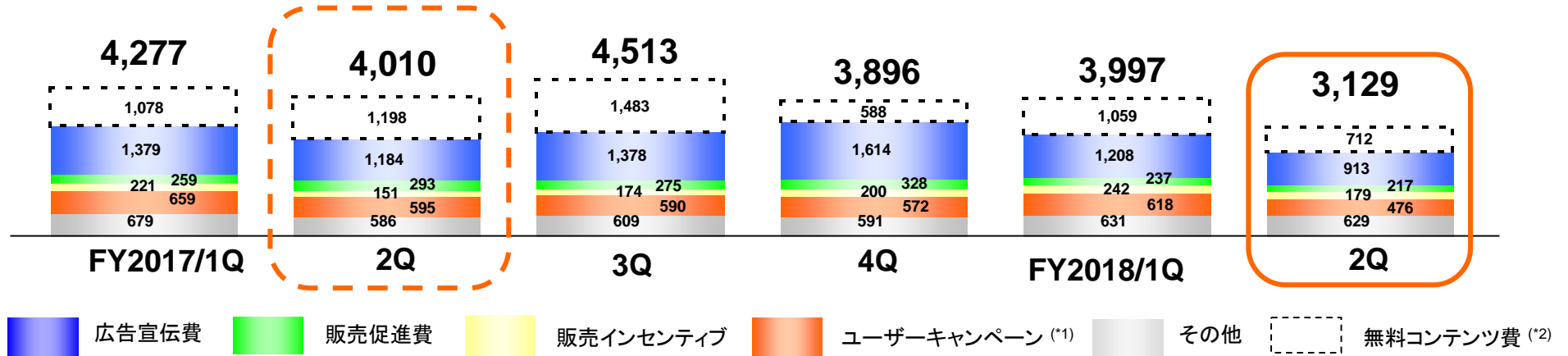
■ 基本料/件
 ■ レンタル会費/件
 ■ フラット視聴料/件
 ■ PPV視聴料/件
 ■ 自主コンテンツ収入/件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

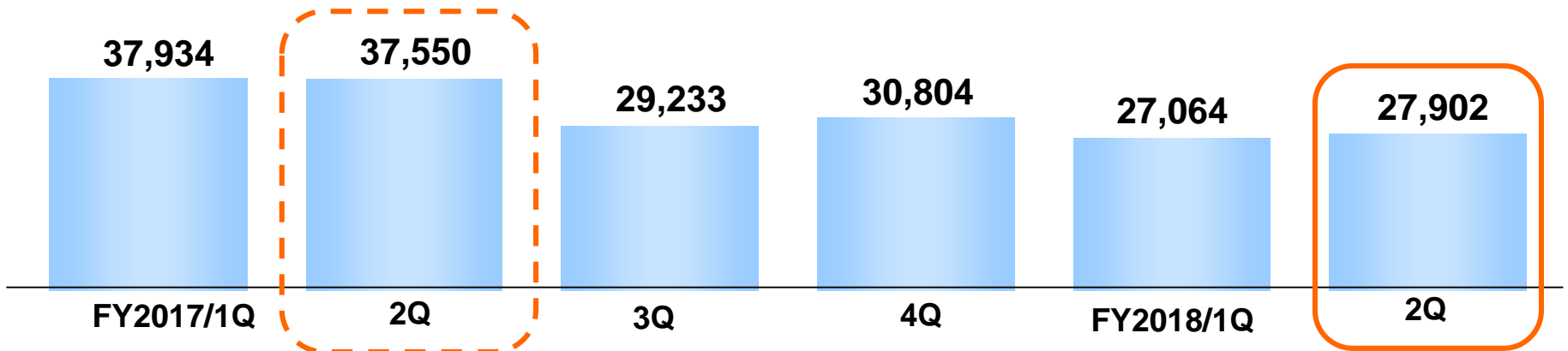
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用

*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

子会社業績

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPET	SPBC	SNET	JII	JMC	WWJ	ENR
事業内容		放送プラットフォーム、衛星通信	有料多チャンネル放送等のカスタマーセンター運営	衛星基幹放送業務、衛星一般放送業務等	コンテンツ制作事業、番組供給事業等	ネットワークサービス、システムインテグレーション	北米での衛星回線販売事業	移動体衛星通信(インマルサット等)サービス事業	海外チャンネル運営事業等	産業用ドローンの設計、製造、販売
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100	53.3	60	100
営業収益	FY2017/2Q	57,662	3,011	29,895	1,933	1,366	961	1,226	92	199
	FY2018/2Q	78,667	3,267	27,035	2,016	1,713	918	1,265	86	199
営業利益	FY2017/2Q	9,457	189	1,070	200	△11	189	149	△1,147	△240
	FY2018/2Q	8,705	216	994	251	171	130	187	△504	△321
経常利益	FY2017/2Q	10,076	190	1,072	200	△8	240	148	△1,144	△224
	FY2018/2Q	9,193	218	997	252	170	166	213	△506	△316

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPET:株式会社スカパー・エンターテイメント

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET:株式会社衛星ネットワーク

JII:JSAT International Inc.

JMC:JSAT MOBILE Communications株式会社

WWJ:WAKUWAKU JAPAN株式会社

ENR:株式会社エンルート

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部

TEL:03-5571-1515

FAX:03-5571-1760

E-Mail:ir@skyperfectjsat.co.jp